

総合工学委員会総合工学企画分科会（第25期・第2回）議事要旨

1. 日 時 令和3年7月19日（月）17:00～19:00

2. 会 場 Web開催

3. 出席者（敬称略）伊藤 公平、小山田 耕二、玉田 薫、筑本 知子、吉田 文、吉村 忍、
伊藤 恵理、伊藤 貴之、伊藤 宏幸、岩城 智香子、塩見 淳一郎、
辻 圭子、寺崎 一郎、出口 康夫（以上欠席者なし）

4. 議 題

1) 前回議事録（案）の確認

2) 幹事の交代における新幹事の承認について

伊藤公平氏の幹事の退任及び伊藤宏幸氏の新幹事への就任が承認された。

3) （話題提供）テーマ「日本がすべきカーボンニュートラルの方向性」

九州大学副学長・主幹教授 佐々木一成氏

大学人からみたエネルギーの観点での研究動向について佐々木先生より話題提供をいただいた。その後に行われた意見交換では、カーボンニュートラルに関する人材育成の必要性、安全評価技術や標準化についての取り組みが弱いこと、エネルギーの転換による社会構造の影響について等の議論がなされ、様々な分野の専門家がどのような社会をつくるか議論できる場を提供できることが総合工学の強みであることが確認された。

4) 学術フォーラム企画案について

未来的な、これまでと違う切り口で、勉強になる形のを企画することとし、企画案についてメールベースでの議論を引き続き行う

5) （意見交換）教育における総合工学分野とは？

教育に関する小委員会の設置が承認され、そこで総合工学分野の参照基準を集中的に議論することとなった。

参照基準に関しては、前期で検討したArt、ELSI（ethical, legal and social issues）、可視化の視点を取り入れて検討する。

6) その他

・カーボンニュートラルの連絡会の設置について

カーボンニュートラルに関しては、様々な委員会・分科会が様々な切り口で提言の発出を検討しており、情報の流通をよくする目的で連絡会が設置された。

本分科会としては、連絡会での議論を参照しながら、学術フォーラムの企画を検討していくことが確認された。

5. 配布資料

資料1 第25期日本学術会議総合工学委員会総合工学企画分科会名簿

資料2 講演資料「日本がすべきカーボンニュートラルの方向性」